



地域支援センター「みみらんど・郡山」

平成29年度 第2回みみらんどセミナー



11月24日(金)に、小学校や中学校から参加者が集う中、筑波大学附属聴覚特別支援学校 最首一郎先生をお招きし、本校主催によるセミナーが開催されました。指定授業の参観や事後検討会、座談会、高等部の公開授業が行われました。



中学部1学年 指定授業

数学科「方程式」

～1次方程式の解き方～

〈学習内容〉 ノート4冊と1本50円の鉛筆3本を買った代金の合計は470円で、ノート1冊の代金を求める。



事後検討会：最首先生の助言

- 「 x 」がでると戸惑ってしまう。
- 実際の買い物場面でやってみる。
- 一人、一人に考えをもたせる。
- 考える時間が大切である。
- 間違いは誰にでもあることを、普段の生活の中から意識づける。
- 失敗を恐れずに、自信をもたせる。



たくましく生きることにつながる

座 談 会



進路実現に向けて、
どのような力をつけ
たらよいか？



- ・自分のことを理解してもらう力
- ・自分のことを説明する力
- ・自分自身を大切に
する気持ち！
自尊心をもたせる。

進路決定の指導の仕方は？

生徒の可能性を広げ、保護者の同意を得るためには？

何になりたいか、
わからない？

- ・早く明確な目標をもたせると、生徒の意識や行動がかわる。
- ・体験等を通して、適正を把握する。
- ・卒業生との懇談会は参考になり、有効である。

- ・早めに三者面談を行い、三者での考えを出し合う。
- ・本人の意志を尊重した話し合いをする。

- ・勉強は楽しい、という意識をもたせる。
- ・興味をもつこと。
- ・1つの教科がよくなると、他の教科もよくなり、自信につながる。

参加者からの感想

☆高等部の英語の授業で、積極的に学ぼうと会話が弾む様子を見させていただきました。たくさんの会話の中で理解が深まっていると感じました。

☆特別活動での係活動、児童・生徒会、学級活動など集団での活動を前提とする活動の大切さ、可能性を改めて感じる事ができました。